

10.30国会行動

大幅なプラス改定求め要請

改定率決定を前に

10月30日、協会は国会行動を実施した。二村副理事長、藤田・小柳両理事が参加し、5名の国会議員との懇談が行われた。診療報酬の改定率が12月中旬に決まることから、いずれの議員との懇談でも、期中改定・次回改定での引き上げに重きを置いた要請を行った。

特定保険医療材料の 原価割れ 調査結果を報告 早稲田夕季議員

今回の要請項目は次の3点。①補助金の支給と併せて速やかな「期中改定」という認識は与野党で一致しているだろう。今国会では近次改定において10%以上引き上げること、②OTC類似薬を保険適用から除外しないこと、③従来の健康保険証を復活させること。

医療法改正案 懸念事項を共有 青柳陽一郎議員

青柳議員(衆・立憲)は先

に言及すると、「内科が下がった分、ほかに点数が上っている科はあるのか」という質問があり、今回はほぼすべての診療科で下がっていると回答。無形

は以前から問題となっており、公定価格が材料価格の高騰に追いついていない状況であることを説明。さら

医療機関経営の 現状に理解

このほか、阿部知子議員(衆・立憲)秘書・小林氏のリのライン」である点等を強調した。中西健治議員(衆・自民)秘書・富田氏との懇談では、医療機関で消費税による損税が医院経営を圧迫している現状について、過去に診療報酬が非課税となった経緯等も含めて説明した。

新しい政権の枠組みに 医療界は警戒 笠浩史議員

笠議員(衆・立憲)は協会の要請に対し、「病院も注視が必要とした。

も優先順位が高く、自民も軽視が難しい状況だ。時間同じく、10月の社保審医療保険部会でもOTC類似薬の保険適用の見直しに向けて議論。診療側の見識により、立ち消えになったように見え

加の自己負担を求める方法」と、OTC類似薬に“選定療養”の適用・活用を示唆する発言もあった。選定療養は昨年、長期収載品で導入した実績(既成事実)もあることから、保険外よりもハ

の決定に向けて、厚労省と財務省の攻防が最終局

とに言及すると、「内科が下がった分、ほかに点数が上っている科はあるのか」という質問があり、今回はほぼすべての診療科で下がっていると回答。無形

は以前から問題となっており、公定価格が材料価格の高騰に追いついていない状況であることを説明。さら

は以前から問題となっており、公定価格が材料価格の高騰に追いついていない状況であることを説明。さら

財務省の手法を批判 牧山弘恵議員

協会は財務省の「診療所は黒字をキープしている」との発言について、病院の併せて4月9日に協会から発表した政策部長談話(オンライン診療ビジネスの跋扈を懸念/医療法改定の部分修正・慎重審議を望む)を改めて紹介した。

ほぼすべての 診療科でマイナス 深刻さ訴え 深作ヘス議員

深作議員(衆・国民)との懇談では、藤田理事から

は以前から問題となっており、公定価格が材料価格の高騰に追いついていない状況であることを説明。さら

医療機関経営の 現状に理解

このほか、阿部知子議員(衆・立憲)秘書・小林氏のリのライン」である点等を強調した。中西健治議員(衆・自民)秘書・富田氏との懇談では、医療機関で消費税による損税が医院経営を圧迫している現状について、過去に診療報酬が非課税となった経緯等も含めて説明した。

理事会だより

第32期第6回理事会 10月9日(木)

〈役員29名、出席24名(うちWEB9名)〉

【議長報告】

情勢討論のポイントとして、病院の赤字ばかり

後、限られた時間の中であるが、診療所の窮状を

【議長報告】

は、討論のポイントとして高市早苗首相の下、自

は、討論のポイントとして高市早苗首相の下、自

主張 OTC類似薬の自己負担増は 未来の公的医療に禍根を残す

高市・自民党新総裁、新首相が誕生、公明党との連立が解消され、議席確保のため自民・維新の連立政権が樹立するなど、今秋は政治の枠組みが大きく変化した。高市氏は所信表明で、医療機関の経営危機に対する財政支援等の対応を約束。医療現場に安堵や期待を抱かせる一方、OTC類似薬の自己負担の見直し(保険外し等)に言及するなど、看過できない事態に及んでいる。

先の通常国会では、維新議員が「OTC類似薬の保険外しで1兆円の財

源確保が可能」等と執拗

た。しかし、自民・維新が締結した連立政権合意書では、社会保障政策の冒頭に「OTC類似薬を含む薬剤自己負担の見直し」を明記。維新が要望

を。また、OTC類似薬の保険外しは▽患者負担の増大、▽自己

の決定に向けて、厚労省と財務省の攻防が最終局

とに言及すると、「内科が下がった分、ほかに点数が上っている科はあるのか」という質問があり、今回はほぼすべての診療科で下がっていると回答。無形

は以前から問題となっており、公定価格が材料価格の高騰に追いついていない状況であることを説明。さら

は以前から問題となっており、公定価格が材料価格の高騰に追いついていない状況であることを説明。さら

医療機関経営の 現状に理解

このほか、阿部知子議員(衆・立憲)秘書・小林氏のリのライン」である点等を強調した。中西健治議員(衆・自民)秘書・富田氏との懇談では、医療機関で消費税による損税が医院経営を圧迫している現状について、過去に診療報酬が非課税となった経緯等も含めて説明した。

は、討論のポイントとして高市早苗首相の下、自

高市首相の所信表明での 医療機関へ向き合う姿勢に 強く期待する

診療所を標的化し第一線医療破壊を招く財務省に抗議する

神奈川県保険医協会

政策部長 磯崎 哲男(談話)

◆診療所も首相は目配り

骨太方針2025を反故にする財政審分科会の提案は言語道断

財政制度等審議会財政制度分科会は11月5日、11日と診療所の経常利益率の平均値をもって、診療所の診療報酬を標的とし削減圧縮し、病院へ財源移転する方策を提案した。11日には差額診療の「選定療養」のメニュー拡大も提案された。前者は医療体制の強化に反し、後者は必要・最適保障の健康保険の現物給付原則に悖る。「骨太方針2025」は、コストカット型からの転換、公定価格の引上げと明確に従来からの転換を旗幟鮮明とし薄明りが見えていただけない医療界には憤りが広がっている。

しかし、高市首相は、所信表明演説で医療機関の窮状の救済を高く位置づけ、代表質問でも些かも揺るがず答弁をし、予算委員会では診療所も対象であると断言した。病診での診療報酬の改定率の区分けも退け、見識を示している。自身の遠距離介護での離職を考えた苦衷も吐露され、地に足の着いた現実感を伴った答弁を重ねている。この姿勢には勇気づけられる。われわれは医療危機脱却に向け、診療報酬の大幅改定の実現へ、高市首相の手腕が発揮されることを強く期待する。

◆所信表明演説では医療機関の窮状の救済は、最優先の物価高対策の一環の位置づけ

10月24日、高市首相は所信表明をし、内閣の最優先課題の「物価高対策」の中で、「国民の皆様のいのちを守り、安心して必要なサービスを受けていただくためにも、赤字に苦しむ医療機関や介護施設への対応は待たなしです。診療報酬・介護報酬については、賃上げ・物価高を適切に反映させていきますが、報酬改定の時期を待たず、経営の改善及び従業者の処遇改善につながる補助金を措置して、効果を前倒します」とした。このことの意味は重い。医療機関の窮状の救済は位置づけを高く置いている。

この方針は、衆参の代表質問でも強調されている。11月7日の衆院予算委員会では、立憲民主党の中島克仁議員に問われ、「診療所も含めて対象」と首相は明言し、「過去2年分ぐらいの状況を見ながら、賃上げや物価高を適切に反映させることを考えている」と述べている。12日の参院予算委員会では立憲民主党の田名部匡代議員に遠距離介護への支援を問われ、自身の遠距離介護経験と離職まで考えた苦悩を吐露し検討を約した。介護は第一線医療との緊密な連携関係が基盤である。

13日の参院予算委員会では、日本維新の会の猪瀬直樹議員が、診療報酬の改定率を病院は引上げ、診療所は引下げをを提案し質したが、首相は明確に否定した。

高市首相は自民党総裁選の公約で「補正予算を措置して、深刻な危機的状況にある地域の医療福祉を、スピード感をもって守り抜いていきます。診療報酬については、過去2年分の賃上げ・物価上昇分を反映して前倒しで改定」としており、考えている政策は緊迫感と現実感に裏打ちされている。

既に自民党の政調会長代行の田村憲久・元厚労相が、11月15日に三重県の講演で、診療報酬の底上げに向けた補助金による累次の補正予算、インフレ局面での2年分を見込んだ改定への見通しが示されている。

このことに、われわれは改めて意を強くする。

◆診療所の経常利益率の最頻値は0~1%で薄氷を踏む水準 赤字は4割 医療の再生産は不可能

財務省は前回同様の「機動的調査」を実施し、診療所の経常利益率が高いとし診療報酬の引下げを財政制度等審議会分科会で言い募り一部報道が追隨した。しかし数字は平均値であり、全ての診療所がこの利益率で医療

経営はしていない。平均値は高い値に引きずられ、この値で現場事態は推し測れない。

みるべきは、「医療法人経営情報データベースシステム (MCDB)」による「医療法人の経営状況」である。これは、医療法人が毎年、会計年度終了後3カ月以内に都道府県知事に報告が義務付けられている「事業報告書等」、「経営情報等」を国が集計分析したものである。医療部会や中医協等で示されている。財務省の調査もこの事業報告書等を集約したものだが、厚労省の方が精度は高く分析もきめ細かい。

この「医療法人の経営状況」によれば、2024年度医業利益が赤字の診療所は全体の約4割となっており、本業以外の補助金などを含んだ経常利益率は「0.0%~1.0%」が最頻値である。事業収入が1億円でも経常利益は100万円ではない。診療所の職員(医師以外)の給与は300万円から400万円程度であり、一カ月あたり給与を1万円から1万5千円に引き上げた場合に簡単に吹き飛ぶ金額ではない。

診療所は初診患者の8割、外来患者の7割を診ている。疾病の早期発見や疾病治療、重症化予防はじめ第一線医療を担っている。かかりつけ医機能を果たし、中小病院、大病院、基幹病院、大学病院などと連携し、「面」として地域医療を担っている。一次、二次、高次(三次)と、機能分担・役割分担の下、重層構造で地域医療は支えられている。現状は、診療所は、医療の再生産が覚束ない水準であり、この薄氷を踏むような状況が続けば、早晚、地域医療の底が抜ける危険性が高い。

◆医療体制強化に向けた「底上げ」へ 診療報酬の大幅引き上げは必須

財務省は、再診料の「外来管理加算」の廃止や初診料の「機能強化加算」廃止、地域包括診療料・加算の廃止・包括化をいうが、各々2,057億円、296億円、69億円の計2,422億円に相当する(R6 社会医療保険診療行為別統計より算出)。実施されれば改定率▲0.5%に相当する。これはR6年度(2024年度)改定での、①生活習慣病管理料や処方箋料等の再編等による▲0.25%の倍であり、②ベースアップ評価料の+0.6%をほぼ帳消しにする。

これでは、第一線医療は崩壊し、この間、政策誘導、経済誘導も相まって整備された、病診の機能分担、病診連携は水泡に帰し、患者の大病院集中となり勤務医は疲弊し悪循環となる。

財務省は、患者負担は3割限度とした2002年健保法附則第2条の「改正も視野に入れ、正面から国民的な議論を喚起すべき」と説く。また選定療養の更なるメニュー追加と部分的保険外しを期した更なる活用も説いている。前者は国会審議の軽視、侵害である。後者は、選定療養の考え方が整理された健保法改正時の「新たな保険外併用療養費制度においては、・・・保険給付外の範囲が無制限に拡大されないよう適切な配慮をすること」とした2006年6月13日参院厚生労働委員会の附帯決議に反している。

保険給付の充実、医療体制の強化へは財源を要す。給付増は負担増である。財務省は闇雲な患者負担増や診療所の標的化ではなく、必要な負担額を示し、政治や国民に問うことが本来だと考える。伊原厚労事務次官は11月13日、高松市の講演で「支払った社会保険料は、サービスを通じて家計に還元されるもの」だと説明。これを軽減することは「患者や利用者の負担増につながる可能性もある」と説いた。森光医政局長は10月26日、都内の講演で、医療インフラ減少で「地域社会が揺らぐ」と危機感を露わにした。

医療は平時の安全保障である。有事の安全保障同様に国民の命を守るために必要な費用をかけるべきである。われわれは、医療体制の強化に向けた「底上げ」と医療の再生産を保障する、診療報酬の大幅引き上げを改めて強く求める。

2025年11月18日

＜参考＞ ◆医療法人：令和6年度 病院・診療所の赤字割合（医業収支）と医業利益率 <2025.10.27医療部会資料より＞

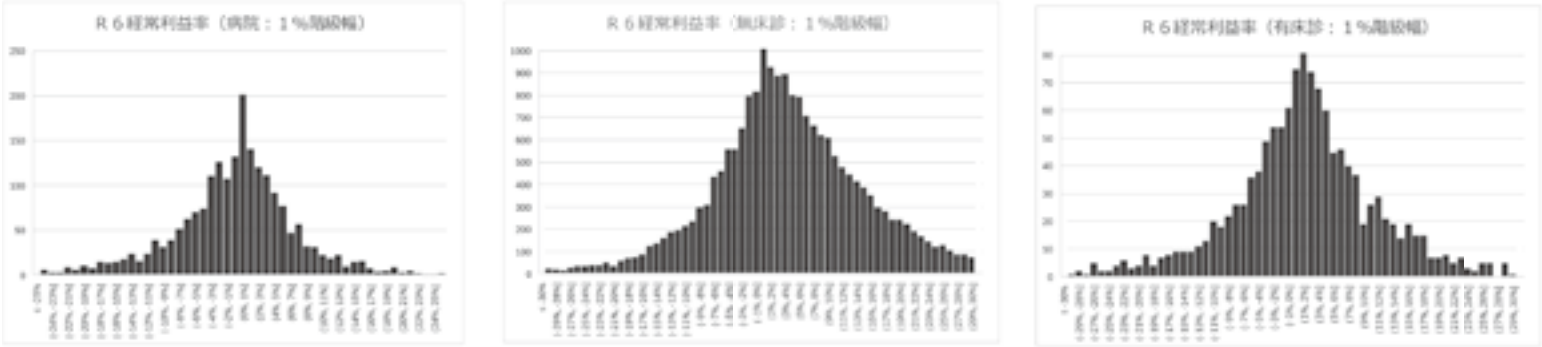


◆医業利益率

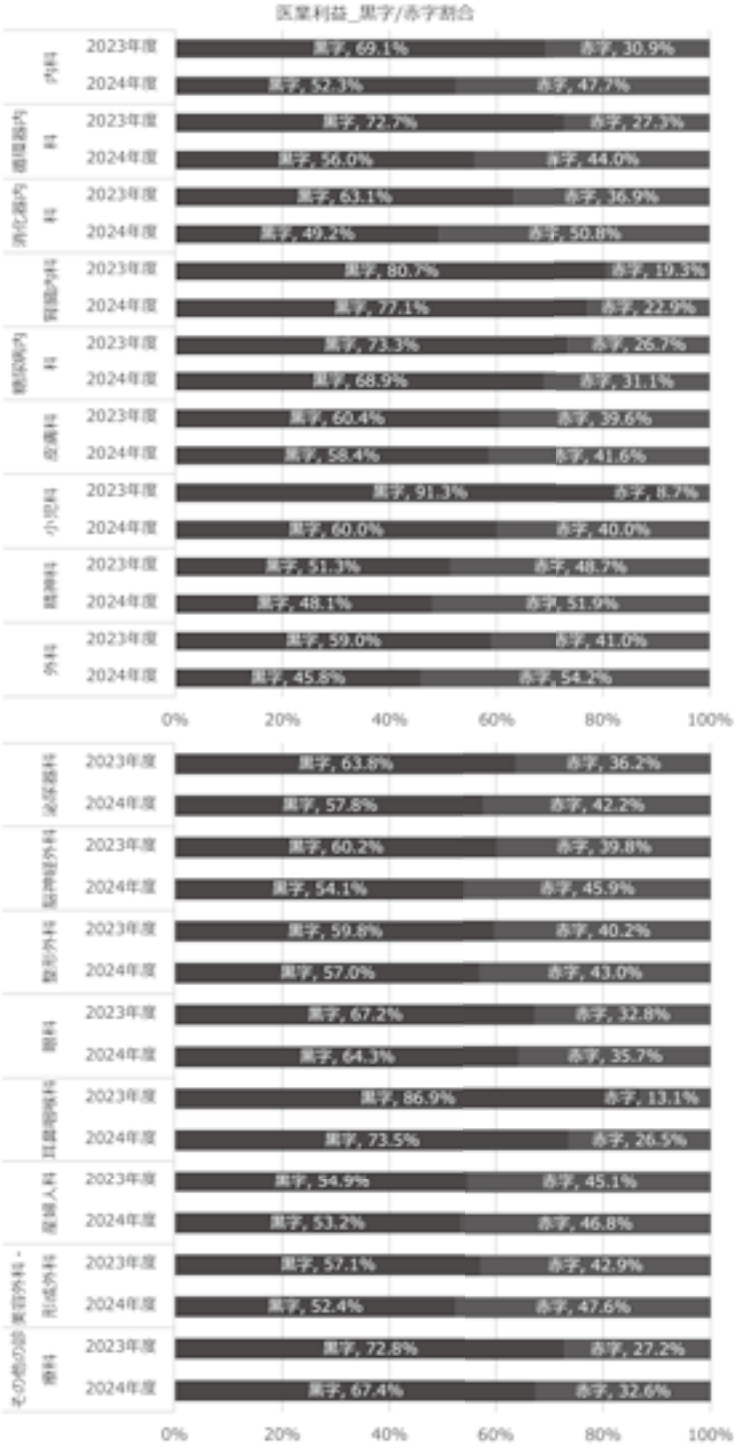
		＜病院＞	＜無床診療所＞	＜有床診療所＞
令和6年度 【R6.4.1～R7.3.31 の間に決算を迎えた施設】 提出率：57.8%	N数 (N/医療法人立施設)	2,098 (37.3%)	20,636 (47.3%)	1,308 (32.0%)
	平均値	▲1.4%	4.9%	2.4%
	中央値	▲1.4%	2.1%	▲0.2%

最頻値は病院0.0%～1.0%、無床診療所0.0%～1.0%、有床診療所1.0%～2.0%

◆薄氷を踏む、医療機関経営 経常利益率、最頻値は病院と無床診療所は「0.0%～1.0%」有床診療所は「1.0～2.0%」 <2025.10.27医療部会資料より＞



◆2023年度・2024年度の医科診療所の経営状況 | 黒字/赤字割合 <2025.10.29中医協総会資料より＞
全ての診療科で2023年度から2024年度にかけて医業利益が赤字の診療所の割合が大きくなっている



＊24年度は赤字が23年度より増加



＊赤字は大都市4割、人口少数地域5割



「特別なことはしない 思いやり」

時代の流れを汲む力

「LGBTQの当事者に対しては微塵の偏見も持っていないと自負していたが、「LGBTQフレンドリー」な歯科医院を実際に訪ねてみると北村院長先生の気さくな人柄に触れ、無意識に張っていた気が一気に緩んだ(取材…新聞部員・徐みつ子)。

「LGBTQフレンドリー」な歯科医院として、当事者患者に対して何か特別な対応や工夫はされていますか。

患者さんの名前を呼ぶときも上の苗字だけで呼びます。それはLGBTQ以外の患者さんに対しても同様です。

診察室でLGBTQの患者さんと同じく問診票です。性

特別なことは何もしていません。受付でも普通に接していますし、問診票も特別な工夫はせず、他の患者さんと同じ問診票です。性

院内のスタッフもすべての患者さんに普通に接しています。LGBTQ対応の情報は共有するとか特別な会で研修するわけでもなく、LGBTQの患者さんを普通に扱っています。院長である私の背中を見て読んでいるのかもしれませんが(笑)。

「LGBTQフレンドリー」を掲げる際に、他の患者さんたちからのクレームや拒絶反応などは心配しませんでしたか。

はじめは心配しましたが、他の患者さんたちも何も変わりません。クレームは一切ありませんでした。

海外に比べてやや遅めですが、日本もいまはLGBTQについての認知が高まっています。性的マイノリティーについては「プライ」の立場ですが、此処に歯科医院を開業した当初から「LGBTQフレンドリー」を想定していたわけではありません。ただ時代の潮流はメディアでも学校教育でもLGBTQが取り上げられ、その認知度は上がってきています。他の患者さんたちにとっても「LGBTQの患者も積極的に診頭打ち状態です(笑)。

「見て見ぬふり」とは違うインクルージョンを時代は求めている。医療機関はその流れを汲む力を備えるべきであろう。「特別なことは何もしない」——その思いやりがLGBTQerを差別や偏見から守っているのだと感じた。

※プライ(Pride)：LGBTQ等について理解し、活動を支援する人々のこと。



北村 秀哉先生
(横浜市緑区)

《プロフィール》
医療法人社団愛誓会理事長。
1991年に鶴見大学歯学部卒業。
北海道の病院勤務等を経て、
2000年に横浜市に中山駅前歯科
を開業。その他、新羽駅前歯科、
オリーブ歯科、クローバー歯科
の3医院を開設する。

小泉精策先生が逝去



横須賀支部で長年活躍されてきた、元理事の小泉精策先生(横須賀市)が、10月21日に永眠されました。享年90歳。
ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

役職員一同

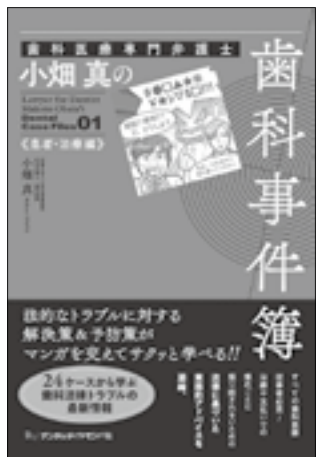
医療現場のトラブルから身を守る方法を 法的に解説したオススめの本



横浜市保土ヶ谷区 藤倉 純子

日常の診療の中、いきなり患者さんが診療中や受付で怒り出し話合いが平行線のまま険悪な雰囲気、先生方の身に覚えがある無しにかかわらず、患者さんが「どうしてくれるんだ?」訴

「えぞー」と言ってきたらどうしますか?その場で患者さんの言うがままに押し通され、後でさらに医院側の責任問題に発展することもあるかもしれません。対処した先生は気が動転



『歯科医療専門弁護士
小畑真の歯科事件簿
《患者・治療編》』
著者：小畑 真
デンタルダイヤモンド社、
2023年2月、
4,400円(税込)

医院会計基礎講座 会計の基礎から 確定申告までの流れを学ぶ

税対経営部は10月9日から23日にかけて、医院会計基礎講座(全3回)を開催。講師は税理士3名(須藤ふみ代、高橋和宏、平田由紀子各氏)が順に務め、各回6名程が参加した。

本講座は医院で求められる会計業務の基礎知識を学ぶことを目的とし、簿記の基本である資産・負債・資本・収入・経費や各勘定科目の使い方などから始まり、最終的に確定申告書の作成に至るまでの流れを把握できる構成で行った。昨年に引き続き、参加者が講座終了後に会計業務に臨む際に役立てていただけるようチェックリストなどを活用し、好評を博した。



(左上から)
講師の須藤氏・
高橋氏・平田氏



quick reports

活動報告

本書は歯科医師として長年臨床経験を積んだ後、司法試験に合格し弁護士資格を持ち、ダブルライセンスを活躍されている小畑真先生が現場で起きやすい様々なトラブルについて、難しい法的解釈を4コマ漫画を交えてわかりやすく解説している画期的な本です。具体的トラブルの例を挙げ、法的な解釈に照らし合わせて、責任の所在や対処法・予防法が書かれています。

「トラブルは起きてほしくない。お互いに患者さんと良い信頼関係で診療をしたい」というのは医療従事者の思いですが、患者さんは医療の専門家ではないので、治療を受ける時は不安と苦痛の中にいます。人により小さな疑問でもパニックになる人もいます。不信

感に火が付くとお互いに穏やかに診療を続けることが難しくなり、中には「訴えろぞ」という脅し文句を言う患者さんもいます。言っただけで現場は場違いなトラブルになります。疲弊してしまいます。

トラブルは起きないことが大前提ですが、起きた時のための知識が満載です。転ばぬ先の法的知識があれば、臨床でのストレスも軽減できるのか?を4コマ漫画

を交えて優しくわかりやすく書いてくださっているのが本書です。トラブル例を題材に、法的解釈、対処法・予防法が書かれているので、目次でも検索しやすくなっています。

歯科だけでなく、医科でも同様に先生方の身を守るための知識が満載です。転ばぬ先の法的知識があれば、臨床でのストレスも軽減できるのか?を4コマ漫画

保険医新聞 ホームページから 読めます

過去の保険医新聞を協会ホームページからもご覧いただけます。最新号は会員の先生のお手元に届く頃にアップロード予定です。お問合せは新聞部(TEL 045-313-2111)まで。
※ログインの際は、会員に公開しているユーザー名、パスワードの入力が必要となります。

研究会案内

※研究会に会場参加の際は、マスク着用・手指の消毒等の感染症対策にご協力ください。また発熱症状等がある場合は参加をお控えください。

※必ず事前にお申込みください。

※新型コロナウイルス感染拡大や天災等により、急遽開催形式を変更または中止させていただく場合がございます。その場合は当会HP「いい医療ドットコム」にて適宜お知らせします。予めご承知おきます。

※協会行事においては、その模様を写真撮影し、記事とともに機関紙に掲載することがありますので予めご了承ください。

神奈川県保険医協会

検索

WEB参加の申込みは、協会HP「いい医療ドットコム」のイベントカレンダーからできます。「神奈川県保険医協会」で検索を！

12月13日(土)午後3時～

協会の行事予定

12月9日(火)
総務部会19時30分。
臨床懇話会18時。
12月14日(日)
ランニング同好会・川崎学術部会19時30分。歯科
研究部会19時30分。
12月15日(月)
政策部会19時30分。
12月16日(火)
新編編集会議19時。研究部会19時30分。
12月17日(水)
医療費相談室14時。医療運動部会19時30分。
12月13日(土)
みんなの料理教室15時。

みんなの料理教室

前回大好評だった「涼子のイタリア家庭料理」の続編！クリスマスパーティーを控え、3品を短時間で作ります。前日も即日定員御礼だったので、ご家族お誘い合わせの上お申込みください。

ところ 横浜市西地区センター(料理室)
(各線「横浜駅」より徒歩10分)

テーマ 「イタリア家庭料理
―クリスマス編―」

講師 料理研究家 細見 涼子氏
メニュー マグロのカルパッチョ・レモン風味、ブロッコリーのパスタ、豚肉を詰めたキャベツのインボルトーニ

参加費 4千500円

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

定員 15名(先着順)

※持ち物はエプロン・手拭タオル・筆記用具等です(包丁は料理室の備品がございます。こだわりの「マイ包丁」をお持ちの方は、持参ください。)

※参加申込み者には、参加費の振込先や会場地図などをご連絡いたします。

※食材等の準備がございますので、当日キャンセルの場合、ご返金は致しかねます。ご容赦くださいますよう、お願い申し上げます。

お申込み 文化部

12月11日・18日(木)／2026年1月8日・15日・22日(木)午後2時～

2025年度
労務管理基礎講座

第2回 12月11日(木)
「労働時間・休憩時間・休日・休憩」

第3回 12月18日(木)
「賃金」

第4回 2026年1月8日(木)
「安全衛生・健康管理、労働保険・社会保険、女性に関する特別規制、育児・介護休業制度」

第5回 1月15日(木)
「ハラスメント、退職・解雇―労働契約の終了―」

第6回 1月22日(木)
「懲戒、就業規則の意義と記載事項」

※参加申込者には後日、個別にアーカイブ配信のご案内をいたします(第1回も視聴可能)。

※いずれも時間は午後2時～4時30分
※途中休憩・質疑含む。

講師 川口社会保険労務士法人
特定社会保険労務士 川口 史敏氏

参加費 1万1千500円(テキスト代込)

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室

②WEB参加…下記QRコード
もしくは協会HP
よりお申込み

※講座で使用するテキスト…『医院経営と雇用管理2025年版』

※本テキストは3年に1回の発行となりますので、最新版は2025年版(2025年11月下旬発刊)となります。2023年版とは内容が異なりますのでご注意ください。

※今回(2025年)はテキスト発刊の都合上、12月初旬からの開催となります。

※テキストは入金確認後、医療機関宛にお送りします。

※会場参加者は初回に会場にてお渡しします。

※事前振込をお願いします。お振込みの際、通信欄に左記をご記載ください。①「労務管理基礎講座 参加費」、②医療機関名、③医療機関電話番号 ④参加者氏名(氏名の前に「6」を付記)

【例】6 ホケンイタロウ

お申込み 税対経営部

12月18日(木)午後7時30分～

臨床懇話会

JSH2025ガイドラインでは、年齢病態、合併症にかかわらず130/80mmHg未満を降圧目標とした。しかし、白衣高血圧など変動性の大きい高血圧について、何を指標にどの程度下げるべきか記載されていない。本講演では実地医家の視点からその答えを考える。

ところ 協会会議室・WEB併用

テーマ 「高血圧管理・治療ガイドライン2025の降圧目標値は適切か
―一般医家の視点から―」

講師 さいたま赤十字病院 総合診療内科 部長 江口 和男氏

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室…定員120名

②WEB参加…下記QRコード
もしくは協会HP
よりお申込み

※日医生涯教育講座CC「74(高血圧症)」1単位
【医籍番号の入力について(下記「重要」参照)】

お申込み 研究部

12月13日(土)午後6時～

第640回月例研究会

COVID-19が第5類となり2年が経過したが、インフルエンザ以上の警戒感は今も必要であり、マイコプラズマ・RSウイルス・溶連菌感染症・梅毒などの流行が顔を出し、新たなワクチンの定期接種も行われている。これらの話題について解説いただく。

ところ 協会会議室・WEB併用

テーマ 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)・インフルエンザおよびその他の感染症とワクチンの話題 2025」

講師 川崎市健康安全研究所 岡部 信彦氏

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室…定員120名

②WEB参加…下記QRコード
もしくは協会HP
よりお申込み

※日医生涯教育講座CC「8(感染症)」1.5単位
【医籍番号の入力について(下記「重要」参照)】

共催 デン力(株)／アステラス製薬(株)／神奈川県保険医協会

お申込み 研究部

2026年1月8日(木)午後7時～

新年会のご案内

当協会の新年会を開催いたします。公私ともご多忙のことと存じますが、ぜひご臨席賜りますようお願い申し上げます。

とき 2026年1月20日(火)
午後7時30分～

ところ 横浜ベイシエラトーン
ホテル&タワーズ(4F「清流」)

参加費 5千円

※ご出席いただける場合は、お手数ですが別送のお送りする出席通知(ハガキ)をご返信ください。

※参加対象は会員のみとなります。未成年の方のご参加はお断りしておりますので、あらかじめご了承ください。

歯科臨床研究会

スプリントと総称していますが、ナイトガードやオーラルアプライアンスなど様々な言われています。用語に確たる定義はありませんが、それらの目的に応じた咬合位で製作され、活用されるべきです。これらの装置は可撤性のため、現在の咬合状態を再現することなく目的に応じて理想的な上下顎歯の対合関係を即座に変更できます。効果のあるスプリントの製作における咬合について、も症例を通してご理解いただければ幸いです。

ところ 協会会議室・WEB併用

テーマ 「実践『効果のあがる』スプリント治療の進め方」

講師 今井歯科クリニック(鳥取県米子市開業院長 今井 俊広氏)

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室…定員50名

②WEB参加…下記QRコード
もしくは協会HP
よりお申込み

※講師はWEB参加のため、来場しません。また、後日の動画配信はございません。

お申込み 歯科研究部

研究会参加費について

※重要※神奈川県医師会の要請により、日医生涯教育講座(CC)の単位取得を希望する場合は、①性別②医籍登録番号③(医師会会員の場合は所属都府県医師会名の登録が必須となります(25年4月より変更)。未入力・入力間違い等不備がある場合、単位を取得いただけませんのでご注意ください(恐れ入りますが、当会は一切の責任を負いかねます)。なお、会場参加の場合は、FAX申込時に所定の欄にご記載ください。

特に記載のない研究会、講習会の参加費は無料です。参加費をいただく研究会は、電話でお申込みの上、郵便口座に参加費をお振込みください。尚、通信欄に①研究会名 ②医療機関のご連絡先を必ずご記入ください。

◆郵便口座 神奈川県保険医協会 口座番号 00260・2・2220

◆協会へお越しの皆様へ(お願い)

協会に駐車場はございません。ご自身で駐車場を確保いただくか、公共交通機関をご利用ください。

※QRコードは機内モードでの登録が推奨です。

会場参加のお申込み・お問合せは、協会事務局(Tel:045-313-2111)までご連絡ください

待合室のみなさまへ

年末・年始、当院の休診中に急病の方は下記お問合せください。

【受診する際には事前に電話等で診療時間や予約等を確認してください。また、保険証等も忘れずにお持ちください】

医科 診療所名		所在地	電話番号	診療科目 ※カッコ書きは曜日等で異なる
横浜市	横浜市夜間急病センター (横浜市救急医療センター)	横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター内	045-212-3535	内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科
	鶴見区休日急患診療所	横浜市鶴見区鶴見中央3-4-22	045-503-3851	内科・小児科 (耳鼻咽喉科)
	神奈川区休日急患診療所	横浜市神奈川区反町1-8-4 はーと友神奈川3階	045-317-5474	内科・小児科
	西区休日急患診療所	横浜市西区中央1-15-18	045-322-5715	内科・小児科
	中区休日急患診療所	横浜市中区本牧町2-353	045-622-6372	内科・小児科
	南区休日急患診療所	横浜市南区宿町4-76-1	045-711-7000	内科・小児科
	港南区休日急患診療所	横浜市港南区港南中央通7-29	045-842-8806	内科・小児科
	保土ヶ谷区休日急患診療所	横浜市保土ヶ谷区天王町1-21	045-335-5975	内科・小児科
	旭休日急患診療所	横浜市旭区二俣川1-88-16	050-1721-6434	内科・小児科
	磯子区休日急患診療所	横浜市磯子区磯子1-3-13	045-753-6011	内科・小児科
	金沢区三師会立 休日急患診療所	横浜市金沢区金沢町48	045-782-8785	内科・小児科
	港北区休日急患診療所	横浜市港北区菊名7-8-27	045-433-2311	内科・小児科
	青葉区休日急患診療所	横浜市青葉区市ケ尾町31-21	045-973-2707	内科・小児科
	戸塚区休日急患診療所	横浜市戸塚区戸塚町4141-1	045-861-3335	内科・小児科
	栄区休日急患診療所	横浜市栄区公田町635-15	045-893-2999	内科・小児科
	泉区休日急患診療所 (横浜市南西部夜間急病センター)	横浜市泉区和泉中央北5-1-5	045-806-0921	内科・小児科
川崎市	瀬谷区休日急患診療所	横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46	045-360-8666	内科・小児科
	緑区休日急患診療所	横浜市緑区中山3-16-2	045-937-2300	内科・小児科
	都筑区休日急患診療所 (横浜市北部夜間急病センター)	横浜市都筑区牛久保西1-23-4	045-911-0088	内科・小児科
	川崎休日急患診療所	川崎市川崎区富士見1-1-1	044-211-6555	内科・小児科
	南部小児急病センター	川崎市川崎区新川通12-1 市立川崎病院内	044-233-5521	小児科
	幸休日急患診療所	川崎市幸区戸手2-12-12	044-555-0885	内科・小児科
	中原休日急患診療所	川崎市中原区小杉町3-26-7 医師会館2階	044-722-7870	内科・小児科
	中部小児急病センター (19時-23時)	川崎市中原区小杉町1-383 日本医科大学武蔵小杉病院内	044-733-5181	小児科
	高津休日急患診療所	川崎市高津区溝口5-15-5	044-811-9300	内科・小児科
	宮前休日急患診療所	川崎市宮前区東有馬2-13-3	044-853-2133	内科・小児科
相模原市	多摩休日夜間急患診療所	川崎市多摩区登戸1775-1	044-933-1120	内科
	北部小児急病センター	〃 多摩休日夜間急患診療所内	044-933-1120	小児科
	麻生休日急患診療所	川崎市麻生区万福寺1-5-3	044-966-2133	内科・小児科
	相模原中央メディカルセンター 急病診療所	相模原市中央区富士見6-1-1 ウェルネスさがみはら内	042-756-9000	内科・小児科・外科
	相模原南メディカルセンター 急病診療所	相模原市南区相模大野4-4-1 グリーンホール相模大野内		内科・外科(小児科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科)
	相模原西メディカルセンター 急病診療所	相模原市緑区中野1681-1		内科・小児科
	横須賀市救急医療センター	横須賀市新港町1-11	046-824-3001	内科・小児科・外科
	鎌倉市休日夜間急患診療所	鎌倉市材木座3-5-35 (鎌倉市材木座3-5-8)	0467-22-7888	内科・小児科
	藤沢南休日夜間急病診療所	藤沢市片瀬339-1 藤沢市医師会館内	0466-23-5000	内科・小児科
	藤沢北休日夜間急病診療所	藤沢市大庭5527-1 藤沢市保健医療センター内	0466-88-7301	内科・小児科・ (耳鼻咽喉科)
	逗葉地域医療センター	逗子市池子字栈敷戸1892-6	046-873-7752	内科・小児科・外科

医科 診療所名	所在地	電話番号	診療科目 ※カッコ書きは曜日等で異なる
茅ヶ崎市休日・夜間急患診療所	茅ヶ崎市茅ヶ崎3-4-23	0467-38-7532	内科・小児科・外科
平塚市休日・夜間急患診療所	平塚市東豊田448-3 平塚市保健センター内	0463-55-2145	内科・小児科・外科 (眼科・耳鼻咽喉科)
小田原市 休日夜間急患診療所	小田原市酒匂2-32-16 小田原市保健センター	0465-47-0823	内科・小児科 (眼科・耳鼻咽喉科)
足柄上地区休日急患診療所	足柄上郡開成町吉田島580	0465-83-1800	内科・小児科
秦野市休日夜間急患診療所	秦野市曾屋11	0463-81-5019	内科・小児科・外科
伊勢原市休日夜間急患診療所	伊勢原市伊勢原2-7-31 伊勢原シティプラザ内	0463-93-5019	内科・小児科・外科 (耳鼻咽喉科)
厚木市休日夜間急患診療所	厚木市水引1-16-45	046-297-5199	内科・小児科 (耳鼻咽喉科)
海老名市急患診療所	海老名市さつき町41 海老名市医療センター内	046-231-1912	内科
座間市休日急患センター (座間・綾瀬・海老名小児救急医療センター)	座間市緑ヶ丘1-1-3 座間市立市民健康センター内	046-252-9090 【小児科】046-255-9933	内科・小児科 (外科)
綾瀬休日診療所	綾瀬市深谷中4-7-10 綾瀬市保健福祉プラザ内	0467-77-5315	内科・小児科
大和市地域医療センター 休日夜間急患診療所	大和市鶴間1-28-5	046-263-6800	内科・小児科

在宅当番医制

休日等において、入院を必要としない比較的軽症の救急患者を受け入れるため、診療所やクリニック等が輪番で診療を行う「在宅当番医制」を実施しています（実施状況は市町村によって異なります）。在宅当番医制の医療機関やスケジュール表等については、各市町村のホームページをご確認ください（相模原市／三浦市／南足柄市／大井町）。

【救急医療情報案内】

かながわ救急相談センター※（#7119）

24時間365日（年中無休） ※2024年11月から、神奈川県全域で「#7119」が利用できるようになりました。

＜ご利用方法＞

(1) #7119へ電話する（直通ダイヤルの場合は045-232-7119または045-523-7119）。

(2) 自動音声案内で、①救急医療相談、②医療機関案内を選択する（042の固定電話からの場合は、#ダイヤルではなく直通番号へ）

※聴覚障がいがある方はFAXも利用できます FAX：045-242-3808（医療機関案内のみ）

※夜間の子どもの体調不良等には#8000も利用できます（利用可能時間：18時00分～翌8時00分）

歯科 診療 所 名		所 在 地	電話番号
横浜 市	横浜市歯科保健医療センター	横浜市中区相生町6-107	045-201-7737
	金沢区三師会立休日急患診療所	横浜市金沢区金沢町48	045-782-8785
川崎 市	川崎市歯科医師会館診療所	川崎市川崎区砂子2-10-10	044-819-4494
	川崎市中原歯科保健センター	川崎市中原区小杉町2-288-4	044-733-1248
	川崎市百合丘歯科保健センター	川崎市麻生区高石4-15-5	044-966-2261
障害者・休日急患歯科診療所 (相模原口腔保健センター内)		相模原市中央区富士見6-1-1 ウェルネスさがみはら内	042-756-1501
横須賀口腔衛生センター 休日急患障がい者歯科診療所		横須賀市西逸見町1-38-11 ウェルシティ市民プラザ2階	046-823-0062
鎌倉市口腔保健センター		鎌倉市台2-8-1台在宅福祉サービスセンター1階	0467-47-8119
逗葉地域医療センター		逗子市池子字栈敷戸1892-6 2階	046-873-2368
藤沢市南休日急患歯科診療所		藤沢市鶴沼石上2-10-6藤沢市口腔保健センター内	0466-26-3310
茅ヶ崎市休日急患歯科診療所		茅ヶ崎市茅ヶ崎3-4-23 茅ヶ崎市地域医療センター2階	0467-38-8667
平塚市休日急患障がい者歯科診療所		平塚市東豊田448-3	0463-55-2176
小田原市休日急患歯科診療所		小田原市酒匂2-32-16	0465-47-0825
秦野市歯科休日急患診療所		秦野市今川町1-3秦野駅前農協ビル3階	0463-83-3120
伊勢原市休日歯科診療所		伊勢原市伊勢原2-7-31伊勢原シティプラザ4階	0463-95-3121
厚木市歯科保健センター		厚木市中町1-4-1厚木市保健福祉センター1階	046-224-6081
海老名市休日歯科診療室		海老名市さつき町41海老名市医療センター内	046-231-1939
座間市休日歯科急患センター		座間市緑ヶ丘1-1-3座間市立市民健康センター内	046-252-8217
綾瀬休日歯科診療所		綾瀬市深谷中4-7-10綾瀬市保健福祉プラザ内	0467-79-1818
大和 歯 科 診 療 所		大和市深見西2-1-25	046-263-4107